



# 消防千葉

**2017 No.555** 平成29年9月号

---

平成 29 年 9 月 1 日 編集兼発行人  
千葉市中央区仁戸名町666番地2 千葉県消防会館内  
公益財団法人千葉県消防協会会長 石橋 毅  
TEL043(263)9885  
郵便番号 260-0801  
ホームページ <http://business4.plala.or.jp/chisyo/>  
メールアドレス [chisyokai@bz04.plala.or.jp](mailto:chisyokai@bz04.plala.or.jp)

---



第 57 回佐倉市民花火大会手筒花火 (佐倉市) 印旛支部

## 巻 頭 言

## 「地域防災への常備消防の役割」

匝瑳市横芝光町消防組合 消防長 安藤 昇



匝瑳市横芝光町消防組合は、匝瑳市、横芝光町を構成団体とし、管轄面積168.53 k m<sup>2</sup>、人口6万人余りを、1本部・2署・1分署、消防車両18台、消防職員109名で、匝瑳市消防団員654名、横芝光町消防団員482名の非常備消防と共に、管内住民の安心・安全のため、消防業務を遂行しております。

管轄地域は、千葉県の北東部に位置し、J R総武本線、国道126号線が平行して東西に走り、これを境に北部は緩やかな丘陵が続き、南部は九十九里浜まで平坦な地形で、整然と区画された田園地帯が形成されております。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災で、構成市町ともに海岸付近での津波被害や行政区域全域に亘る地震被害により、行政や住民の防災意識が高まり、それぞれの構成市町において、年に一度の行政、自衛隊、警察、消防、自主防災組織などが一体となった、住民参加による大規模な避難訓練の実施や、津波避難タワーが数基新設されるなど、ソフト及びハード部分での防災事業が推進されております。

大規模災害が発生した場合、行政や消防で全ての事例に迅速に対応することは、非常に困難であります。そうした中で、被害をできるだけ少なくするには、地域住民の日頃からの防災意識の醸成や災害の際の的確な初動対応による自助、共助が重要であると考え、消防組合としては避難訓練等の実施における指導を推進しており、平成28年中には、管内にある小学校や保育園、幼稚園ならびに病院、企業等で、消防職員が出向しての避難訓練が、合計105回実施されました。

また、当管内の人口は減少しておりますが、全国平均より高い高齢化率の中、独居高齢者世帯や高齢者だけの世帯が増加しており、平成26年度から構成市町の協力をいただきながら、独居高齢者宅を消防職員が訪問し、防災意識の向上や住宅用火災警報器等の普及促進といったことを目的として防火診断を実施しております。

これからは、地域住民への防災意識の啓蒙や避難指導、今後さらに増加すると予想される高齢者等世帯への防火診断などを、行政や地域などと連携しながら実施することが、常備消防にとって、さらに重要な役割になっていくと考えます。

今後もより一層の、自己研鑽による消防技術や知識の習得等を心がけ、時代や地域ニーズに対応した消防力の体制強化を図り、地域住民の安心・安全のため、職員一丸となって、地域防災の推進を図って行きたいと考えます。

## 平成29年度「防火・防災ポスター展」表彰式

千葉県・(公財)千葉県消防協会・千葉県少年婦人防火委員会

防火・防災についての関心を高め、防火・防災意識の啓発を図ることにより災害の未然防止と被害の軽減に役立てることを目的として、千葉県、(公財)千葉県消防協会及び千葉県少年婦人防火委員会の主催により県下の小中学校の児童・生徒から募集した防火・防災に関するポスター展の表彰式が8月22日(火)千葉県庁本庁舎5階大会議室において、受賞者、受賞者の保護者等多数の御臨席のもと開催されました。



本年度は、県内56の小・中学校から2,262点の作品が寄せられ、厳正な審査の結果、最優秀賞には、小学生低学年の部で野田市立中央小学校3年織原優さん、小学生高学年の部で白子町立南白亀小学校5年齋藤奨太さん、中学生の部で市原市立五井中学校3年高野紗也子さんが受賞され、優秀賞には野田市立中央小学校3年武田脩吾さんの作品外5点、千葉県消防協会長賞には茂原市立茂原小学校2年角倉風太さんの作品外5点、千葉県少年婦人防火委員会長賞には白子町立南白亀小学校1年長嶋莞大さんの作品外5点が選ばれ、それぞれ表彰を受けました。



各賞の受賞者は、次の通りです。

◆ 知事表彰 ◆

●最優秀賞

おりはら 織原	ゆう 優	野田市立中央小学校	3年
さいとう 齋藤	しょうた 奨太	白子町立南白亀小学校	5年
たかの 高野	さやこ 紗也子	市原市立五井中学校	3年

●優秀賞

たけだ 武田	しゅうご 脩吾	野田市立中央小学校	3年
はやし 林	ちか 千佳	茂原市立二宮小学校	2年
うちだ 内田	ゆうしん 悠真	長生村立一松小学校	5年
わたなべ 渡邊	かいら 翔陸	睦沢町立瑞沢小学校	5年
つじかわ 辻川	ひな 日菜	八千代市立勝田台中学校	2年
おおつき 大槻	いくほ 郁歩	鎌ヶ谷市立第四中学校	3年

◆ 消防協会長表彰等 ◆

●(公財)千葉県消防協会長賞

すみくら 角倉	ふうた 風太	茂原市立茂原小学校	2年
とみやま 富山	はると 大翔	野田市立宮崎小学校	3年
きとう 木藤	こなつ 小夏	長生村立一松小学校	5年
あまの 天野	とわ 永遠	長生村立一松小学校	6年
なかむら 中村	けいてい 恵亭	船橋市立宮本中学校	1年
ぜにもと 銭本	なな 七菜	船橋市立飯山満中学校	2年

●千葉県少年婦人防火委員会長賞

ながしま 長嶋	かんだ 莞大	白子町立南白亀小学校	1年
おかだ 岡田	まお 真央	野田市立中央小学校	3年
さとう 佐藤	ひろき 宏樹	睦沢町立瑞沢小学校	4年
たての 立野	さや 颯彩	野田市立中央小学校	5年
もちづき 望月	ふみや 郁弥	船橋市立宮本中学校	1年
まつお 松尾	りさ 理佐	市川市立下貝塚中学校	2年

受賞作品

◆知事表彰

☆最優秀賞



野田市立中央小学校 3年  
織原 優



白子町立南白亀小学校 5年  
齋藤 奨太



市原市立五井中学校 3年  
高野 紗也子

☆優 秀 賞



野田市立中央小学校 3年  
武田 脩吾



茂原市立二宮小学校 2年  
林 千佳



長生村立一松小学校 5年  
内田 悠真



睦沢町立瑞沢小学校 5年  
渡邊 翔陸



八千代市立勝田中学校 2年  
辻川 日菜



鎌ヶ谷市立第四中学校 3年  
大槻 郁歩

◆ (公財) 千葉県消防協会長賞



茂原市立茂原小学校 2年  
角倉 風太



野田市立宮崎小学校 3年  
富山 大翔



長生村立一松小学校 5年  
木藤 小夏



長生村立一松小学校 6年  
天野 永遠



船橋市立宮本中学校 1年  
中村 恵亭



船橋市立飯山満中学校 2年  
錢本 七菜

◆千葉県少年婦人防火委員長賞



白子町立南白亀小学校 1年  
長嶋 莞大



野田市立中央小学校 3年  
岡田 真央



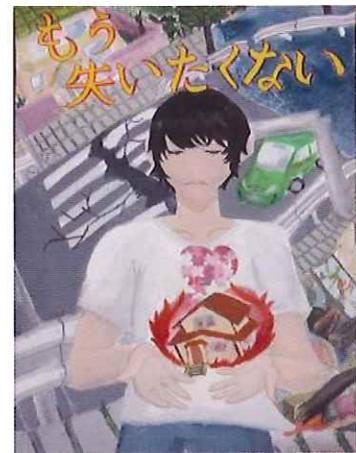
睦沢町立瑞沢小学校 4年  
佐藤 宏樹



野田市立中央小学校 5年  
立野 颯彩



船橋市立宮本中学校 1年  
望月 郁弥



市川市立下貝塚中学校 2年  
松尾 理佐

# 第46回消防救助技術関東地区指導会

～ 千葉県消防長会 ～

7月14日（金）山梨県及び静岡県において、一般財団法人全国消防協会関東地区支部主催による、第46回消防救助技術関東地区指導会が開催されました。

本指導会には、1都9県（173消防本部）から選抜された676名の隊員が、陸上の部3種目と水上の部7種目及び技術訓練に出場し、8月23日（水）宮城県宮城郡利府町で開催される第46回全国消防救助技術大会を目指して日頃錬磨した救助技術を競いました。

千葉県からは10消防本部91名の隊員が県代表として出場、応援に駆け付けた皆様の大声援を受けて、日頃の成果を発揮し、以下の隊員が関東地区代表として全国大会への出場権を獲得しました。



## 開会式



## 陸上の部

### ☆引揚救助☆



成田市	消防士長	田中	裕貴
	消防副士長	櫻井	真吾
	消防副士長	川嶋	容助
	消防士	菅澤	周太
	消防士	宮内	隆充

流山市	消防士長	松土	寛之
	消防士	佐藤	弘貴
	消防士	須藤	浩昭
	消防士	高川	瑛生
	消防士	目黒	湧也

☆ロープブリッジ救出



安房郡市	消防士長	石井	洋也
	消防士長	原	紘太
	消防士長	稲葉	匡史
	消防副士長	粕谷	和紀



柏市	消防司令補	佐藤	翔太
	消防士長	浅見	慶太
	消防士長	月館	健太郎
	消防士	笠原	涼

☆障害突破



流山市	消防士長	知久	隼人
	消防副士長	山田	陽一
	消防士	大崎	洋平
	消防士	熊谷	龍之介
	消防士	石田	文旭



千葉市	消防司令補	松岡	慎悟
	消防司令補	児玉	龍太
	消防士長	稲見	康
	消防士	井川	裕介
	消防士	齋籐	航平



成田市	消防士長	宮島	厚
	消防副士長	村松	博文
	消防士	植田	浩一郎
	消防士	大森	脩登
	消防士	布留川	拓耶



市川市	消防士	小林	翔易
-----	-----	----	----

6月7日千葉県大会結果による全国大会出場者（陸上の部） … 6・7月号に掲載

☆はしご登はん

四街道市	消防士	石渡	瞬
------	-----	----	---

☆ロープ応用登はん

四街道市	消防士	清宮	智貴
	消防士	菅原	明彦

☆ロープブリッジ渡過

安房郡市	消防士	下羽	功貴
------	-----	----	----

☆ほふく救出

成田市	消防士長	安藤	達朗
	消防士長	米田	賢明
	副士長	鵜澤	秀記

おわりに

全国大会へ出場される隊員のご活躍を期待しますとともに、皆様からのご声援もお願いいたします。



## 高校生を対象とした 消防活動一日体験講座を開催

県消防課と（公財）千葉県消防協会は、平成29年7月23日（日）、銚子市の千葉科学大学のマリナーキャンパスにおいて、高校生を対象とした「第1回消防活動一日体験講座」を千葉科学大学、銚子市消防本部と共同で開催しました。



本講座は地域防災を担う若い世代の消防活動に対する理解や将来的な消防職員・団員の確保につなげようとするもので、県内各地から28名の高校生（定員30名）が参加しました。

当日は、開講式後、銚子市消防本部土屋総務課長から消防庁舎の施設説明が行われ、放水体験、救助訓練を見学したあとに、千葉科学大学の室井シニアフェロー（元消防団長）から消防団の活動や現状について講義が行われました。



午後からは、災害救助演習として千葉科学大学の学生消防隊、危機管理システム学科、医療危機管理学科、救急救命学コースの皆さんによる災害救助のデモンストレーションを見学しました。

千葉科学大学の藤本教授による「消防の仕事について」と題して講演が行われ、更に、同大学の藤本教授をコーディネーターとして、現役消防士との座談会を実施し、消防活動に関する様々な疑問について、活発な意見交換が行われました。

講座終了後には、修了証書を授与、最後に記念撮影を行い閉講となりました。



# わが町の消防団 ① 我孫子市消防団

## 1 我が町「我孫子」

我孫子市は、昭和30年4月に我孫子町、布佐町、湖北村が合併して我孫子町となり、昭和45年7月に市制が施行されました。

豊かな水と緑に恵まれ、1970年代から首都圏へ通勤する人々のベッドタウンとしての役割が大きくなっています。



平成29年6月1日現在の人口は132,379人、世帯数は58,047世帯です。

大正から昭和初期にかけて「北の鎌倉」と呼ばれた手賀沼のほとりを中心に「手賀沼のほとり 心輝くまち」～人・鳥・文化のハーモニー～を基本構想とし、先人たちの歴史を引き継いだ自然と人の営みが文化になっていく町を目指しています。



## 2 「郷土愛護」の精神にて

我孫子市消防団は、平成29年6月1日現在、吉田喜一郎消防団長以下230名、1団本部、6方面21個分団の体制で、消防ポンプ自動車4台、小型動力ポンプ付積載車17台を配備し、郷土愛護・献身奉仕の精神のもと限られた団員数の中で我孫子市民13万有余の安全と安心のため活動しています。

## 3 水害への対策

平成25年10月15日に接近した台風26号により、市内全域が大雨に見舞われ、特に当市東部に位置する布佐地区では積算総雨量282.0mmを記録しました。

被害状況としては、床上浸水100棟をはじめ、合計419棟が浸水被害を受け、ボートによる救出人数も99名にのぼりました。

この水害における消防団は、管轄地域の警戒巡視はもとより、布佐地区の被害が甚大であることを確認すると、署隊と合同で消防力を集中させボートを使用した要救助者の救出及び土のう搬送などに従事しました。

本水害を経験したことにより、布佐地区では新たな排水ポンプ場の整備、手賀沼・手賀川の水位周知河川への指定など、北は利根川・南は手賀沼と水の豊かな当市における水害対策の重要性を再認識すると共に、避難準備広報等では地域に密着した消防団の重要性を強く感じるようになりました。

今後も、様々な災害に対応すべく、署隊との連携を図り、備えを進めていきたいと考えております。

## 4 消防団の普及啓発

全国的な減少傾向にある消防団員数において、当市においても団員数の減少は危惧しているところです。

地域防災の要として期待される消防団員の確保のため、消防団協力事業所の認定、普及啓発災害用自動販売機の設置及び消防団応援の店事業の導入など、様々な新規事業に取り組み、地域防災力の低下を防ぐべく努力しています。

今後も消防団活動のPRを継続的に行うことにより、消防団の活性化を図ると共に、市民の期待に応えていけるよう努力していきたいと考えています。



## わが町の消防団 ② 八街市消防団



八街市は、千葉県北部のほぼ中央に位置し、東京から50 km圏内、成田国際空港から10 km圏内、千葉市から20 km圏内という立地で、面積は74.94 k m<sup>2</sup>です。市域は、南北に長く、大部分は平坦な大地にあります。市中央は、市街地を形成し、周囲に畑作地帯が広がり、周辺の低地に谷津田など水田地帯もみられ、緑豊かな環境にあります。

「八街」という名は、明治初期に始まった小金、佐倉両牧の開墾、その着手が8番目だったことにちなんでつけられた字名であり、明治5年に八街村として誕生しました。大正8年の町制施行により、八街村は八街町となり、昭和29年に八街町と川上村が合併、そして平成4年、市制施行により千葉県で30番目の市として八街市が誕生し、現在に至っています。

八街市の消防団は、斉藤団長以下、団本部を中心とした25個分団、413名の編成で消防ポンプ自動車7台、小型動力ポンプ積載車18台と消防団指揮車2台の合計27台の消防用車両を配備しています。

各消防団員は、消防団の基本理念である「自分たちの地域は自分たちで守る」という強い意識をもって、地域防災体制の中核的存在として、日夜消防活動に励んでいます。

消防団の主な年間事業としては、4月の新入団者入団式、5月に行う一泊二日の消防団幹部先進地視察研修、消火活動を円滑に実施するため常備消防との連携による連結送水訓練、6月の普通救命講習会、12月の歳末警戒、年が明け1月の出初式など様々な活動に従事しています。

また、消防団員の規律やポンプ操作の基本訓練にあたる、八街市消防操法大会が9月に開催され、出場分団の操作員は本来の仕事が終わった夜間や休日等、日夜厳しい訓練に励み、優勝目指してがんばっているところであります。ここで優秀な成績を納めた分団が市の代表として、印旛支部消防操法大会へ出場します。さらに、近年では千葉県消防操法大会出場の常連となっており、過去には全国消防操法大会で優勝を納め全国に名声をあげた実績があります。火災現場では、日頃の訓練や操法訓練を基本に常備消防との連携を図り、初期消火及び延焼の防止や消防水利の確保並びに防火水槽への補水まで非常に大きな力を発揮しています。



近年の社会環境や就業構造の変化等により、全国的に消防団員が減少傾向にあるなか、本市においても消防団員の確保に非常に苦慮しています。そこで、サラリーマン等が勤めに行く日中の消防団活動を補完するものとして、昨年度に機能別団員制度を導入しました。また、消火作業などのハード面だけでなく、火災予防広報、応急手当の普及等のソフト面での活動を強化するため、女性消防団員の募集を行い、現在4名の女性団員が所属しています。消防団は地域防災体制の中核的存在として、大きな役割を果たすことが期待されていることから、今後もさらなる団員確保を図り、消防団活動が地域住民に十分理解していただくためにも、消防団の必要性を広くPRすることが必要であると考えています。

# 東 西 南 北

## 千葉県松戸警察署との水難救助連携訓練 松戸市西口消防署

松戸市西口消防署は、平成 29 年 5 月 30 日（火）、江戸川において千葉県松戸警察署と水難救助連携訓練を実施した。この訓練は、水難救助事案発生時における消防機関と警察機関の連携活動要領の確認をするとともに、相互に所有する資機材の把握を目的に、水面に浮かんでいる要救助者を、救命索発射銃を使用して陸上へ引上げる訓練、さらに川底に沈んでしまった要救助者を水難救助隊が引上げ、警察機関と協力して陸上へ搬送する訓練を行った。

これからの季節は、台風に伴う河川の増水や水辺でのレジャーが盛んになることで水難救助件数も増加することが予想されるため、今後も訓練を通じて関係機関との連携強化を図り、迅速かつ的確な救助体制を構築していく。



## 新入社員防火教室の開催 千葉市消防局

中央消防署では、平成 29 年 6 月 21 日（水）中央区内の事業所の新入社員を対象とした防火教室を開催しました。この教室は、火災発生時の初期対応や、心肺停止時における応急処置を学習し、防火・防災意識を高めることを目的として毎年開催しています。

火災発生時のシミュレーションを実施後、消火器の使用方法や屋内消火栓の使用方法、救命講習等を行い、参加者全員が熱心に体験・学習している姿が見られました。また、参加した方から「初期消火の大切さ、消防設備の使用方法、応急処置について学べて良かったです。」などの感想が寄せられました。

今後も防火・防災意識の向上を図るため、様々なことに取り組んでいきます。



## 「消防協力者」に感謝状を贈呈！ 船橋市消防局

船橋市消防局では、平成 29 年 5 月 4 日に北消防署管内で、飛び火による火災を発見し、初期消火活動への協力等を行った市内在住の会社員、藤木政晴さん 19 歳に対し、平成 29 年 6 月 27 日、北消防署長より「感謝状」を贈呈しました。

藤木さんは、自宅の隣家の建物火災により外へ避難していた際に、出火建物から約 50 m 離れた建物の 2 階ベランダから煙が上がっているのを目にしました。すぐさま煙の元へ駆けつけた藤木さんは、危険を顧みず、はしごを架けベランダに上がると干してあった座布団から炎が上がっているのを発見。座布団を素早く階下へ投げ落とすと、即座に水道水にて初期消火を行いました。この行動により、建物への延焼拡大が未然に防がれ、被害は最小限になりました！

贈呈式で藤木さんは、「煙が上がっているのを見つけて、体が勝手に動き座布団を下の階へ投げつけていました」と当時の状況を振り返り、「居住者の方に感謝され、貢献できてよかったです」と話していました。





## 風水害等119番多数入電時の対応訓練を実施

### 佐倉市八街市酒々井町消防組合

6月28日(水)、佐倉市八街市酒々井町消防組合では、119番通報多数入電時の初動対応に携わる指揮指令課職員を対象とした「風水害等119番多数入電時対応訓練」を実施した。

想定は、昨年8月に発生した台風9号による事例をもとに、活動隊の選別要領及び各種災害の情報収集等についての実践的な訓練を行った。本訓練の実施により迅速で効果的な部隊運用及び無線運用、初動時の連絡体制の早期確立が必要であることを確認した。



## 危険物施設事業所との合同消防訓練を実施

### 野田市消防本部

野田市消防本部では、平成29年6月30日(金)、危険物安全週間の事業の一環として、危険物施設保有の事業所と一体となった合同訓練をエパークリーン株式会社千葉支店において事業所員、消防職員合わせて約90名が参加し、危険物火災合同訓練を実施しました。

訓練は、直下型地震が発生したことにより屋外タンク貯蔵所から危険物が漏洩して何らかの火源により火災が発生した想定で、事業所員による緊急作業停止訓練、119番通報、初期消火、避難誘導、情報伝達訓練などを行い、消防は危険物火災に対応する部隊が出動し、泡消火剤を用いた消火活動を行いました。

今回の訓練で、地震発生時の事業所の迅速な初動対応、適切な初期消火活動や出動した消防隊との連携活動体制の重要性を確認し、危険物火災に対する消火活動の技術の向上、より一層の危険物に対する防災意識の高揚を図ることができました。



## 交通安全講習会を実施

### 夷隅郡市広域市町村圏事務組合 大原消防署

夷隅郡市広域市町村圏事務組合消防本部 大原消防署では、平成29年7月5日(水)にいすみ警察署交通課長 及川竜昭氏を講師に招き「緊急自動車の法令と実務」と題して講習会を実施しました。

当消防本部で毎月行っている事故防止施策検討会とは違い、交通課長からの講話ということもあり、職員はもとより特に機関員にあっては、これから夏季シーズンを迎え交通量の増加が予想されるなかで、緊急自動車に付与されている特例事項や、緊急走行時における注意事項を詳しく解説していただき、大変貴重な講習会となりました。



# 日々の動き

防災危機管理部／消防協会 共同編集

平成 29年 9月

- 13日 第 164 期初任科卒業式（消防学校）
- 14日 第 36 回全国消防殉職者慰霊祭（ニッショーホール）
- 30日 第 23 回全国女性消防操法大会（秋田市）



平成29年度 全国統一防火標語  
**「火の用心 ことばを形に 習慣に」**

平成29年度  
**秋の交通安全運動**  
 9月21日(木)から9月30日(水)  
 スローガン  
**～ 身につけよう 命のお守り 反射材 ～**

## <表紙の説明>

### 第 57 回佐倉市民花火大会手筒花火（佐倉市）印旛支部

佐倉市民花火大会は、昭和31年佐倉樋之口橋納涼大会として始まり、平成17年に中止されたものの、市民の強い要望により、平成19年から「佐倉市民花火大会」として新たに生まれ変わりました。今年は8月5日（土）に開催し、大迫力の二尺玉4発の打ち上げや10分間で6,000連発打ち上げるビッグプレミアムスターメイン、関東では珍しい手筒花火、至近距離で花開く水上花火のほか、今年は“日本一”（内閣総理大臣賞通算16回受賞）の野村花火工業も尺玉を30連発打ち上げなど、総数約16,000発が夏の夜空を彩りました。

